**重点施策（案）「未来に続く子ども・子育て支援」**

　第1期計画期間で進めてきた子ども・子育て支援事業をベースに、市内のどこに住んでいても安心して子育てのできる、

子育て環境の安定化を目指します

（１）多様な保育ニーズへの対応に向けた取り組みの強化

・大東市版ネウボラ　　・子育てアプリ　　・送迎保育ステーション

（２）就学前教育・保育サービスの平準化

(表1)保育施設定員・利用者数の推移

(グラフ1)０～５歳児の人口推移

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 地区 | 施設数 | | | H27  定員 | H31  定員 | H27  利用者 | H31  利用者 |
| 保 | 認 | 幼 |
| 北部 | 2 | 4 | 2 | 459 | 461 | 416 | 435 |
| 東部 | 3 | 4 |  | 510 | 710 | 535 | 597 |
| 南部 | 4 | 4 | 1 | 409 | 536 | 421 | 551 |
| 西部 | 6 | 3 | 1 | 820 | 863 | 888 | 885 |
| 合計 | 15 | 15 | 4 | 2,198 | 2,570 | 2,260 | 2,468 |

※「保」…保育所、小規模保育施設、「認」…認定こども園

「幼」…幼稚園。表の定員は2号・3号の利用定員数ですが、参考のため施設数を記載します

・就学前人口の減少

　・平成２７年➡平成３１年で約５００人減少

・認可定員の増加と保育ニーズの地域的ギャップ

　・利用定員：Ｈ27年度 2,198人➡Ｈ31年度 2,570人

　・北部地域、東部地域で定員割の状況

・就学前人口の減少

　・平成２７年➡平成３１年で約５００人減少

・認可定員の増加と保育ニーズの地域的ギャップ

　・利用定員：Ｈ27年度 2,198人➡Ｈ31年度 2,570人

　・北部地域、東部地域で定員割の状況

・就学前人口の減少

　・平成２７年➡平成３１年で約５００人減少

・認可定員の増加と保育ニーズの地域的ギャップ

　・利用定員：Ｈ27年度 2,198人➡Ｈ31年度 2,570人

　・北部地域、東部地域で定員割の状況

・就学前人口の減少

　・平成２７年➡平成３１年で約５００人減少

・認可定員の増加と保育ニーズの地域的ギャップ

　・利用定員：Ｈ27年度 2,198人➡Ｈ31年度 2,570人

　・北部地域、東部地域で定員割の状況

・保育需給バランスの調整

・公立施設のあり方の検討

・保育需給バランスの調整

・公立施設のあり方の検討

・保育需給バランスの調整

・公立施設のあり方の検討

・保育需給バランスの調整

・公立施設のあり方の検討